



バラの会
ほんだ みえ
本田 みえ 議員

ロケツーリズム 島原の魅力発信 最大限活かして

Q 及ぼす効果は。

A 知名度が上がることで、ふるさと納税が増えている。

また、「かんざらしに恋して」では、ロケ地「銀水」を訪れる観光客が2・7倍の増で、直接経済効果は1700万円、NHK再放送など広告宣伝効果は9800万円。

Q 過去のロケ地の保存・活用も。

A 「まぼろしの邪馬台国」のロケ地については、所有者の意向を踏まえ、慎重に対応していく。

空き家を活かしたまちづくり

Q 市内の利用可能な空き家件数は。

A 空き家4177件のうち、利用可能な空き家は377件。

Q 特定空き家を増やさない取組

A は。空き家バンクに登録し、制度の周知、登録の促進を図り、不動産

業者の協力を得ながらマッチングを行っている。

健康に配慮した受動喫煙対策を

Q 現在の喫煙所、いつ頃どこに設定予定か。

A 庁舎屋上へ移転予定。市民より苦情が寄せられており、保健所から早急に適切な場所へ移動するよう2度指導を受けている。

Q 屋上より、敷地を出た川の方の三角地帯にしたほうが近く、市民や観光客、誰でも利用できる。

また、灰皿は置かず、各自が責任もって処理すべきでは。

A 屋上が正解と言えるか分からないが、法律の要件では屋上となる。

母子寮 廃止から約1年 その後の支援は

Q 母子寮で受けられていた支援は継続しているか。

A 母子父子寡婦自立支援員、家庭相談員が引き続き相談を受け、きめ細やかに対応している。

Q 新規の支援を必要としているひとり親世帯への支援は。

A 令和2年度は1月末現在で、400件程の相談があつており、生活支援や子育て支援を行っている。



バラの会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員

人口減少対策

Q 新たに設置される子育て世代包括支援センターの内容は。

A これまでの母子保健事業及び子育て支援事業の充実を図りながら、個別の子育て相談や母子手帳交付の際に個々に応じた支援プランを作成し、訪問や電話支援など妊娠期から子育て期までの切れ間のない支援を行いたい。

Q 産後ケア事業は継続事業であるが、包括支援の中の事業になる。統計では出産から約一年は産後鬱の症状が出やすいとのことから、生後4か月未満が対象というのは改善すべきではないか。

A 産後ケア事業は平成30年度から行っており、徐々に増えているがまだ年数が浅く周知不足が否めない。また、委託事業のため受入れ先の状況もあるが、対象年齢の拡充は検討していきたい。

Q 他市でごみの焼却施設の熱を利用して温水プールや温浴施設がつくられている。

A 本市の温水プールは、宝酒造様からのお湯を無料でいただいで利用しており、他市の施設よりも運営コストは安い状況である。

また、学校のプールは夏の期間の利用であるのに対し、温水なので一年中時期を選ばない。これだけ有利な条件もありながら廃止を考え直す方向はないのか。

A 学校のプールは毎年修繕費がかさみ、老朽化のいよいよ限界が来ているのかもしれない。であれば、市民の利用と学校の授業の兼用のプールは、総合的な公共施設等総合管理計画など可能な限り維持していくべきだと思う。

【その他の質問項目】

◇ロケツーリズム

◇人口規模政策

